

第 19 回議会報告会 報告書

地 域 名	建屋地域		
年 月 日	平成 31 年 4 月 23 日 (火)	会 場 名	建屋教育集会所
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 05 分
参 加 数	男性 13 人	女性 2 人	合計 15 人
班 長	勝地 貞一	司 会 者	勝地 貞一
報 告 者	班員全員	書 記	瀬原 達夫
班 員 名	勝地 貞一、谷垣 満、藤原 芳巳、瀬原 達夫		
市 民		対 応	
意見交換会の質疑	① 建屋地区での宅地分譲などに対する市の補助制度はないのか。	① 宅地分譲による制度は、現在のところない。	
	② 宅地分譲を行うとあるが、目的など詳細にお聞きしたい。	② 会館建設用地付近の民地 2,300 m ² 位を市が購入して、若者向けの宅地を造成し、人口の増加を図ることにしている。	
	③ 特認校の児童数増加対策のためにも、若者定住促進住宅などを建設することはできないのか。	③ 市としては移住者の方に対しては、空き家の活用やリフォームなどに補助をしている。また地元としては、このような用地、空き家があるというような情報提供も必要ではないかと思う。	
	④ 家屋の解体などに対する補助はないのか。	④ 現在、空き家に対する補助制度はない。但し道路の通行や歩行者に被害を与える恐れのある家屋で、特定空き家に認定されれば、国・県・市の補助や代執行などの制度はある。	
	⑤ 当初新文化会館の建設費は、35 億円だったと思うが、なぜ 10 億円も増額になったのか。	⑤ 建設用地の面積が増加、建設資材の高騰、文化会館の解体費の増額などによるものである。議会でも議論は行っている。	

市 民		対 応
(意見交換会の質疑)	⑥ 自治協が運営をしているタッキー号は、今は診療所の利用者を運ぶ目的となっているが、週に1日のみの運行のため、利用者が少なくなっている。今後の運行の在り方を検討してほしい。	⑥ 人口減少や高齢化に伴い、利用者が少なくなってきた、存続が危ぶまれている。現在のところ公共交通機関の路線などの関係で規制があるのは事実で、対策は利用者を増やす必要があると思う。
意見交換会での質疑	① 7月の豪雨や台風により、建屋川の各所で災害が発生した。随時工事は行われているが、工事は県が行うのか市が行うのか。発注などの経過報告が1度だけあったがその後はない。工事の状況報告を区長等にすべきと思うが、その後の報告をしてほしい。 ② 建屋小学校の特認校制度で、コミュニティスクールが取り入れられ、他市町でこの制度が注目されている。 建屋地域は特認校制度を生かし、受け入れ体制の仕組み作りのためにも、雇用促進住宅等の住宅施策が必要と思う。	① 今回の災害発生箇所は、約700カ所以上あり、頑張って順次施工はしている状況である。経過報告の件は担当部署に伝える。 ② 地域が一丸となって土地の斡旋をするなどし、住宅の建設を是非してほしいと要望するなど、地域の熱意が必要と思われる。
その他(提言など)	① 録音は何のために必要か、皆の本音が出ないのではないか。	① この報告会の報告書作成の際に、間違いがないのかの確認のためのものである。
備考 なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和元年5月14日

報告者 1班 班長 勝地 貞一

